

宮工タイムズ

SAITAMA PREFECTURAL OMIYA-TECHNICAL HIGH SCHOOL TIMES



埼玉県立大宮工業高等学校
〒331-0802
さいたま市北区本郷町 1970
TEL 048-651-0445
FAX 048-660-1904
<https://omiya-th.spec.ed.jp>

宮工タイムズを手にとっていただき、ありがとうございます！

授業は？部活は？進路は？宮工生の“声”がたくさんつまっています。楽しんで読んでくださいね。

～ある先生をつぶやき～

大学4年の卒業間近、一本の電話。大宮工業高校に着任することが決まった。「どんな生徒たちなんだろう」「英語好きになってもらえるかな」「そもそも、ちょっと怖いかも…」不安を覚えた。

そして4月。不安は「毎日生徒の顔を見るのが楽しみ」という気持ちに変わった。挨拶がしっかりできる、素直で素朴な生徒たち。なにより、元気の良さは一番の魅力だ。

着任して7年。今は、毎年、新・宮工生に会えることを楽しみにしている。



ドラマや漫画の影響で、今でも「工業高校＝怖い高校」と思われがち。実際に足を踏み入れると可能性の宝庫であることに驚くはず！！

まずは「大宮工業高校ってこんな学校！」を知ってもらえる4つの柱をご紹介します。

特徴1：授業は実習&座学

宮工の授業は、工業科目4割・普通科目6割。工業科目は座学と実習が半分ずつです。

特徴2：学習分野は4つ

宮工には機械科・電子機械科・電気科・建築科の4つの学科があります。気になる学科がある人は、ぜひ、専門科の先生とお話ししてください！

特徴3：盤石な就職サポート

大学生でも入社が難しい企業と太いパイプがあるのが宮工進路の一番の魅力です。業種や職種を絞り込んだ後、複数の企業を比較してじっくり検討できるのは、求人件数が多いからこそ！

特徴4：ハイレベルな学びに挑戦

「もっと知識を深めたい！」という意欲に応えるための授業も展開しています。

宮工で何する？

ものづくりは金属から～機械科～

包丁、ハサミ、カッター、鍵。ドライバー、ネジ、金づち、工作機械。車輪、水道の蛇口、電車のレール、遊園地の乗り物、銅像、お寺の鐘……。部品にも道具にも、**金属は当たり前に使われています**。より強く、よりしなやかに、より薄く、より鋭く……。金属の形を変えていくのは時間のかかる繊細な作業。それだけに、納得いくものができた時の充実感は計り知れません。



ものづくりの前には“製図”と言う、作りたいものを図面におこす作業があります。機械科では、『mm』の単位を使いますが、それは、製品の微妙な差が使いやすさを分けるから。そのような**小さな世界での技術を可能にしたのは“人”、技術を生むのも“人”**です。

ものの作り方を学びながら、「人ってすごい！！」を実感できるのは新鮮な体験になるはず。あなたも機械科で『**1ミリより小さな世界**』を覗いてみませんか？

1年生の実習で「楽しい！」No.1は溶接！
シールドから見る景色は自分だけのもの！

インフラ技術の第一人者～電気科～

普段、私たちが何気なく使っている電気はコンセントにさすだけで使用できます。しかし、その多くは遠く離れた**発電所**で作られています。高電圧で**送電**され、地域の変電所を経て至るところに**配電**され、私たちの家庭へ送られています。24時間途切れることなく作られる電気を維持するにはたくさんの設備と人々が関わっているのです。



これらの設備は、使い方を間違えたりメンテナンスを怠ったりすると事故にもつながります。現在日本では、専門知識をもった電気技術者が不足しています。安全で快適な生活を支える電気技術者は、**目に見えないけれど無ければ快適に生活する上で困るもの（＝インフラ）**を扱う、大きな責任を担っています。

電気科の学びは、たくさんの人を笑顔にできる仕事につながる勉強です。

本校電気科の電気工事士合格率は、
埼玉県トップクラスです！

～4つの柱はこれ！～

“建てる”奥深さ～建築科～

「夜は静かに眠りたい」「解放感のあるお風呂が好き」。毎日の生活で、あなたが何気なく「いいな」と感じることは何ですか？風通しの良い空間、気持ちの落ち着く色、心地よい日差し。建築科では、人間の五感を大切にして、**安心安全かつ、自分にも他人にも快適な住空間を学ぶ**ことができます。

ものをつくるときに大切なのは、“**つくった物が相手にとって良い物かどうか**”ということ。建築物でいうと、例えば、京都に出店する大手チェーンは街並みに調和させた色味でつくられています。これは、オリジナルの外装が古都の景観に影響を与えるからです。作り手と使い手が互いに寄り添って、私たちの生活は成り立っているのです。

使う人、つくる人、それぞれの立場になって、
あなたも考えてみませんか？



私たちの暮らし＝衣食住と密接に関わっているのが、建築科の学びです！

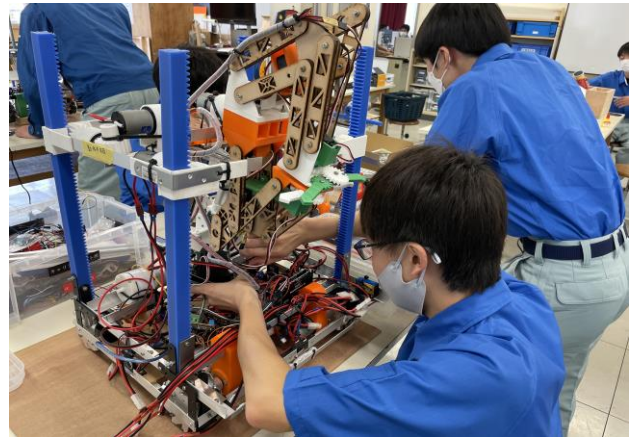
目指せ！未来の先端技術者～電子機械科～

みなさんが便利だと感じる製品の多くは状況に合わせて動きを変えてくれます。室内温度を保つエアコン。近づくと開く自動ドア。自動で掃除をしてくれるロボット。安全に車を走らせる自動運転。なぜ、そんなことが可能なのでしょうか。

人の五感の役割を果たす**センサがさまざまな状況を感知し、それをもとにコンピュータが指示を出すことで動く**のです。そのしくみを『制御』と言います。

電子機械科では、そのために必要な、**機械・電気・プログラム**について学びます。電子機械科の学びは、新分野で日本を支える可能性を秘めています。

想像力と創造力を働かせて、まだ世の中に無いものを形にしてみませんか？



産業用ロボットに必要な制御技術を学んで日本の経済を支えよう！

宮工で何する？～きっかけはいろいろ～

部活動+宮工

梶田龍之介（R3年度電気科卒業 入間市立野田中学校出身）

私は3年間、柔道部に所属しました。柔道は小学6年生の時に始め、中学3年生まで4年間、同じ道場での練習をこなしました。大宮工業高校に進学したのは、**柔道が強くなりたい**と思ったからです。

高校での練習は、それまでと比べものにならないくらい厳しく辛いもので、1年生の時はずっとついていくのが精いっぱいでした。仲間と支え合い、やっと自分で課題を見つけ取り組めるといった時に、コロナウイルスによる活動制限と自分自身の怪我によって、2年生では大会に出場すらできず、最後の大会は、インターハイ予選団体2位、個人3位という結果で終わってしまいました。

正直、この3年間は悔いしかなく、やりきったかと言われれば胸を張って「はい」とは言えません。ですが、**伝統ある宮工柔道部で過ごし、卒業できたことは私の誇り**です。

みなさん、ぜひ、高校生活において目標を決め、諦めずに突っ走ってください。結果よりも大切なものが手に入るはずですよ。



柔道で進学するか専門性を生かして就職するかを考え、鉄道会社に就職しました！



進路+宮工

曾根朱音（電気科3年 北本市立西中学校出身）

私には**鉄道運転士**になるという将来の夢があります。

私は小さいころから電車をよく利用していた影響で、電車に対して親近感を持っていました。その後、自分も**鉄道インフラを支え、自分の手で電車を走らせたい**と思うようになり、いつも利用しているJR東日本に就職したいと考えました。中学三年生になって様々な高校の情報を集めた時に、**JR東日本からの求人募集がある高校**を見つけました。それが大宮工業高校でした。

今、私は電気科に入り、座学や実習を通して電気回路や機器を専門に学んでいます。昨年度は資格取得にも挑戦し、通信工事を行う際に必要な「工事担任者」など、3つの資格に合格することができました。自分で決めた目標に向かい、日々、取り組む力がついたと思っています。

JR東日本に就職するには常に好成績でなくてはなりません。

また、学校生活の中で何事も諦めず結果を残していくことは就職してからも大切になります。自分の夢を叶えるためにこれからも努力し続けたいと思います。

1年生の時から情報収集を怠らず、先輩や先生方から熱心にお話を聞いて準備を進めています！



◀校内を覗いてみよう▶

普段何気なく使っているものが便利になると「よかった〜」と感じることが増えます。

本年度から新しく設置された**自動販売機**では、**バランス栄養食を購入できるようになりました**。さらに、毎日の学校生活で快適に使えるよう、トイレの改修工事を行いました！自動の照明と手洗いの水道に加え、床面は清掃がしやすつくられています。



本校の敷地内にある自動販売機は、電子マネーでの支払いも可能です！

また、昨年度、社会科室を“ソサエティ室”と名称を変えて、全面リニューアルしました。**普通教室をこのように改装するのは、本校だけの特別な事例**です。楽に移動できる変形可能なテーブルは、個別学習でもグループワークでも利用しやすいです。部屋の奥には**レーザー加工機4台と3Dプリンタ**が設置され、工業棟に行かなくても、気軽にものづくりを試すことができます。



ちなみに工業棟には**新しい工作機械が続々と導入**されています。

本年度の直前、春休みの期間中に先生方は使い方の研修を受けました。これらを段階的に運用し、宮工で学ぶ生徒たちが現場で実践できるスキルや精度の高い作業に触れるように、協力して授業づくりに取り組んでいます。



電気科では、3Dプリンタでいろいろなものを形にしています。

宮工で何する？～エンジニアの世界～

時代の変化に合わせたものづくりを学ぶために、国は「スマート専門高校事業」として新たな産業教育装置の整備を始めました。埼玉県にある工業高校の拠点校である本校には他校と比較して多額の予算が充てられ、さまざまな工作機械や実験装置が設置されています。歴史ある宮工では、3年間をとおして本来の手技と最新の工作機械を用いたものづくりを学ぶことができます。

ここでは、機械科を例に見てみましょう。マシニングセンタという機械があります。これはプログラミング制御によって工具を自動で交換し、穴を開ける、表面を削る、といった複数の金属加工が行える工作機械です。

機械科に導入された新たなマシニングセンタは、これまでの、上下・左右・前後の三方向だけでなく、傾斜をつけたり回転させたりする同時加工が可能になりました。高性能の機械を正しく使えと、より立体的な物の加工にも挑戦できます。



最先端の加工技術を学ぶのと同じように大切に考えられているのが「どのように加工するのか」を五感で学ぶ体験です。機械に触れる面白さを知った生徒たちは、力試しの場に挑んでいます。昨年度は、高校生溶接技術競技会県大会に参加した生徒が優勝し、関東甲信越高校生溶接コンクールに出場。また、今年度6月に行われたものづくりコンテスト（旋盤部門）でも、みごと、優勝を果たしました。

日本の産業を支えてきた汎用機はんようきで“ものをつくる”感覚を学び最新機を併用して精度を考えながら学習できる環境が、宮工にはあります。



ワクワクがいっぱい～工作機械～



〈社会生活とつながる学び〉

進歩し続ける文化や社会とその土台をつくってきた工業高校は、いろいろな場面で深いつながりがあります。電子機械科の阿部佑紀先生が、授業の中身をお話ししてくれました。

「先生の取り組みが新聞に取り上げられたそうですね！
どんなことをされたんですか？」

「インターネット上で暑さ指数を測定できる装置を
生徒と一緒に作りました！ちなみに、暑さ指数とは、
熱中症になりやすいかどうかを判断する目安になる
数値です。」



「暑さ指数っていう言葉、初めて聞きました。気温が高くなると熱中症のニュースをよく聞くから、
自分たちで危険な数値が分かるのって良いですね！どうして、その分野に注目したんですか？」

「最近の夏は40℃近い気温が当たり前になってきていますよね？その暑さの原因ってなんだろうと
疑問に思ったので調査することにしました。インターネット上で数値が測定できればSNSなどを
活用して埼玉県の暑さ指数をリアルタイムで情報発信することができると思ったんです。」

「工業高校の授業とはどんなふうにつながってるんですか？」

「実はこの実験は、3年生の課題研究という授業の一環で
取り組んでいるものです。この授業では社会問題や環境
問題といった様々な課題に対して、工業高校として
アプローチできることを1年間かけて学んでいますよ！」



「ただ、組み立てたり動かしたりするだけじゃないんだ…。
先生が考える“工業高校で学ぶ面白さ”ってどんなこと
ですか？」



「やっぱり“ものづくり”ができることです。自分が
作りたいものを形にすることができるし、今回のように
世の中の役に立つものを創造して作ることもできます。
社会はたくさんのもので溢れています。その一つ一つが
“ものづくり”なのです。ものづくりをするためには
たくさんの知識や技術を身に付けなければなりません。
難しいこともあるけれど、ものが完成した時にその
面白さに気づけると思います。ぜひ、宮工でいろいろな
“ものづくり”にチャレンジしてください！」

宮工で何する？～バランス&チャンス～

《R3年度機械科卒業 附田欣也 伊奈町立南中学校出身》

→ 山崎賢哉先生

山崎先生の口癖は「めんどくさい」。何かあると必ずと言っていいほど口にします。でも、もちろんそれは冗談で、**やる時はとことんやってくれる生徒思いの先生です。しかも面白い。**だから、生徒からもものすごく好かれています。

機械科の先生方とは良すぎるくらい仲良しです。進路のことも詳しく、やりたいことややってみたいことを伝えると「ここいいんじゃない」「ここむいてそう」などたくさん相談ののってくれます。3年生になった時、とても助けられました。

宮工に入ったら一度話してみてください。きっと、いろんな話が聞けますよ！



《電子機械科2年 岡部司 さいたま市立原山中学校出身》

→ 菊池弘之先生

菊池先生の実習は①知識②実践の順で学びます。知識の部分では公式を習うこともあります。最初の方は中学理科の電気の単元がしっかりと出来ていれば問題なく理解できると思います。そうでないと少し苦労するかもしれません。

『真面目にやってる子がバカをみるのが1番嫌なんだよ』これは、菊池先生の名言です。昨年度、自分たちのクラスは注意される時によく言われました。菊池先生は、『真面目な人には真面目に』がモットーの、とても筋の通った先生です。



《電気科3年生 小山真太郎 さいたま市立宮原中学校出身》

→ 万沢一成先生

万沢先生とは、1年生の情報の授業で初めて出会いました。教えるのが上手で皆が出来るようになるまで面倒を見てくれ、廊下ですれ違った時も**「最近頑張ってるか、その調子で頑張れよ」と声を掛けてくれる、**本当に生徒思いで親切な先生です。授業や実習以外の時間を使って国家資格の講習を開いてくださり、忙しい中でもずっと生徒のことを大切に思ってくれています。

最後に一つ！万沢先生は、レポートの期限をしっかりと守る生徒を評価してくれます。

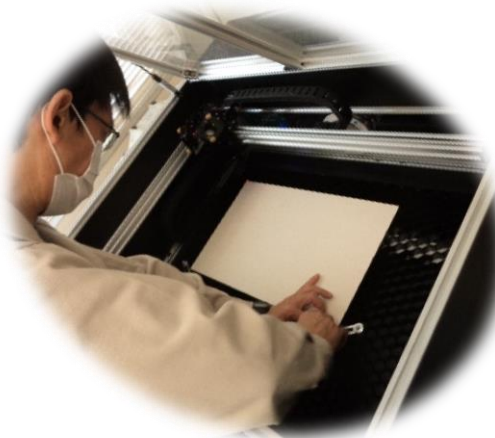


《建築科3年生 富岡真吾 伊勢崎市立境南中学校出身》

→ 吉村公利先生

建築科の授業は座学と実習があります。私は、吉村先生に建築製図と建築CAD（図面をコンピューターで書く技術）を教わりました。最初、吉村先生にお会いした時はちょっと強面で近寄りたがたいかな？と思っていましたが授業や部活動で関わっていくうちに、生徒の声に耳を傾け、メリハリのある行動も尊敬できる、気さくでユーモアのある優しい先生ということが分かりました。

吉村先生はレーザーカッターやパソコンなどの最先端技術にとても詳しく、先生方からも**「困った時は吉村先生に聞いたら確実！」**とされています。



《実習の経験で社会のリーダーへ！～》

宮工の隠れた魅力のひとつに、幅広い学科の**四年制大学の指定校推薦枠**があります。その中には、普通科高校に通う高校生が一般受験を考えるようなところも含まれています。

専門高校で学ぶ普通科科目の学習量は少ないです。3年間で積み上げた学習の貯金を活かし**進学後の高度な学習**についていくための**きっかけづくり**として、本校ではカレッジコースを設定しています。



《英語》

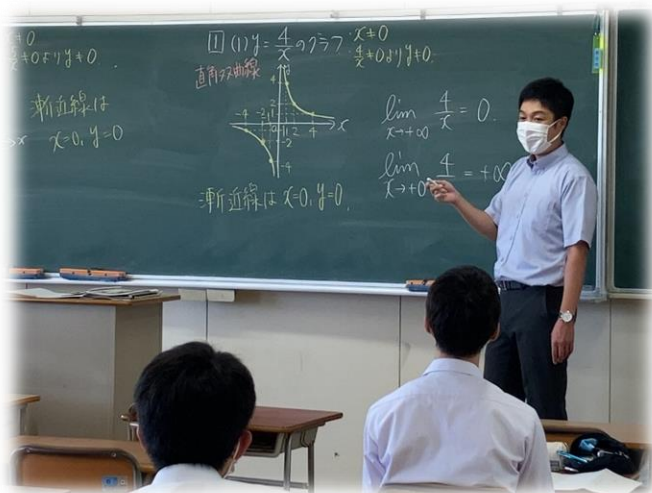
英語学習の最大の目的は、習った文法や語彙を用いて自分の意見や思いを自由に表現できるようになることです。

今日、大学では文系・理系を問わず英語で発表する機会が増えています。カレッジの授業ではSDGs（環境・貧困・紛争・男女平等）などのタイムリーな話題や、**工業ならではのテクノロジーやAIに関する話題**を扱い、**自分の意見を述べたり発表したりする機会**を多く設けます。また、様々な状況に英語で簡潔に対応できるようにペアワークやグループワークをつうじてトレーニングしていきます。

《数学》

カレッジコースでは数学Ⅲを学習します。**この科目を履修できる工業高校は珍しい**です。内容は数学Ⅱで学ぶ「微分」「積分」をさらに深めたものです。これらは理科の物理学に適用され、ものづくりの現場だけでなく大学の工業の学びにもつながっていきます。

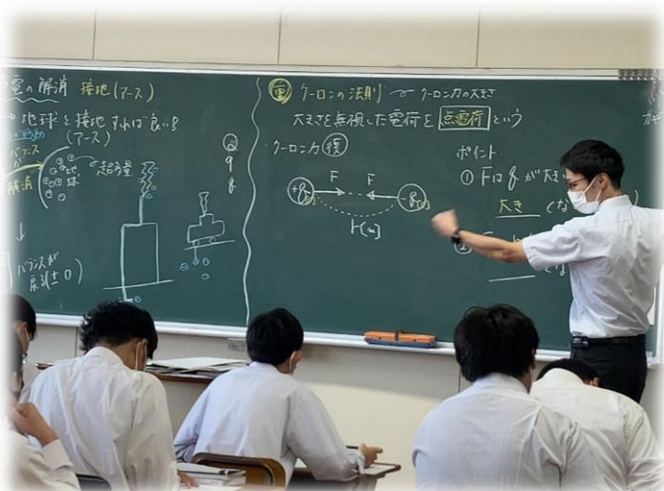
社会では物事を論理的に正しく理解し説明していく能力が求められます。カレッジコースの数学では、**ただ答えを求めるだけではなく、その途中過程の記述方法なども学習し**、そのような力（論理的思考力）も養っていきます。



《理科》

高校の理科は、物理・化学・生物・地学に分かれます。カレッジコースでは物理を学びます。

物理とは身の回りの現象について学ぶ科目で、中学校で学ぶ科学の光や電気などの分野にあたります。その中でカレッジコースでは力やエネルギーを中心に学習します。この分野を「力学」と言いますが、**力学は工業のどの分野においても関連性が強く**、たとえば力の加わり方や物体の動きを知ることは、**機械そのものの動き、建物の構造のどこに負荷がかかるか、ロボットのバランスをどのようにとるか**などの理解につながります。力学を学習することで、工業の専門的な内容をより深く知ることができます。



宮工で何する？～楽しめ!宮工ライフ～

先輩の物語

ソフトテニス部（R3年度機械科卒業 佐藤慎太郎《さいたま市立泰平中学校出身》）

私は機械や車に興味があったわけでもなく、特にやりたいことがないまま大宮工業高校に入学しました。そんな中、部活動を3年間続けることができたのは、ただ「勝ちたい」の一心があったからです。

私は試合中のミスを引きずってしまうタイプで、顧問の先生からはずっと「切り替え!」と言われてきました。その時は、すごく嫌な気持ちになりますが、今はメンタルが弱くて良かったと思っています。就職試験の時、実際に面接でミスをしてしまったので、部活で先生にたくさん言ってもらえて良かったと感じます。

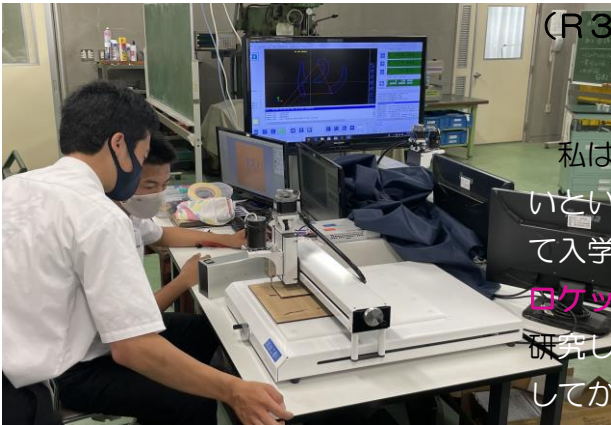
先生に教わる事ができたことを糧に、これから頑張っ、て、恩返ししていきたいです。



大宮工業高校だからできる!～オリジナル部活動～

ラジオ部

（R3年度電子機械科卒業 成田涼馬
さいたま市立七里中学校出身）



私は宇宙に行くロケットが好きでいつか自分も作ってみたいという夢があり、部活動でロケットが作れる宮工にひかれて入学しました。ラジオ部の魅力はなんと言っても1からのロケット作り!他の学校とは違い、形状や重さなど細部まで研究し、部品は全て手作りです。プログラムソフトで形を設計してから完成まで2ヶ月と長いですが、ロケットが大空に打ち上がった瞬間は今までにない達成感を味わいました。

建築研究部

（建築科2年 松岡直輝 行田市立西中学校出身）

建築研究部の見せ場は文化祭です。みんなで協力して試作を繰り返し、本棚やイスなどの実用品をつかって販売しました。時間をかけて作った物が売れていくのは嬉しかったし、自信になりました。幼稚園に玩具を作った際には、作品に“建築研究部”の焼印を押ししました。自分たちの作った物が分かり、実際に子どもたちが使ってくれていると思うとやりがいを感じました。



＜続ける力、挑戦する力＞

「3年間の高校生活で頑張ったことは何ですか？」高校卒業後の進路を決める時、必ず聞かれる質問です。勉強は当然！取得した資格の数も魅力的！そこにもうひとつ、主体的に取り組むものを加えましょう！

宮工生が注目するのは どんな部活？

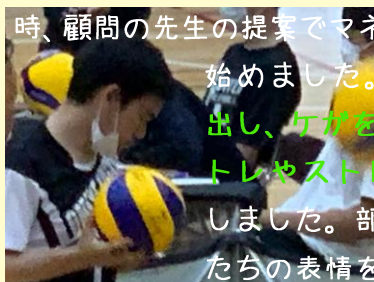
令和4年度・部員数ベスト3を挙げました。
新しい経験をはじめの生徒が多いようです！



マネージャーって どんなことをするの？

機械科3年 梅本晃波くん(さいたま市立宮原中学校出身・バレー部)が教えてくれました！

「僕は練習についていけず辞めようと思った時、顧問の先生の提案でマネージャーの仕事を始めました。練習中のボール出し、ケガをしている選手の筋トレやストレッチの手助けをしました。部の一員として選手たちの表情を見ることができて良かったです。」



強さの継承～柔道部～

2017年のスポーツ誌の取材によると、創部の年は「定かではない」そうです。ただし、その強さは当時から群を抜いており、道場に並ぶ色褪せた賞状からも一目瞭然。部員の中にも「強くなりたい！」と決意して入部した生徒がいるほどです。

武道の理念「**心技体**」を大切に、技術も心も鍛えます。



栄光をもう一度～野球部～

正門を入ると左側に見えるのが、**第40回・選抜大会優勝**を記念した石碑です。

野球部が頂点をつかんだのは、1968年のこと。私立高校の台頭に苦杯をなめた時期を経て、2016年には**20年ぶりとなる、県ベスト16入り**を果たしました。

『古豪復活』を合言葉に、日々、練習に励んでいます。



宮工で何する？～未来をつかめ！！～

《宮工ブランドは強い！～次の一歩のために～》

1. 求人の多さ

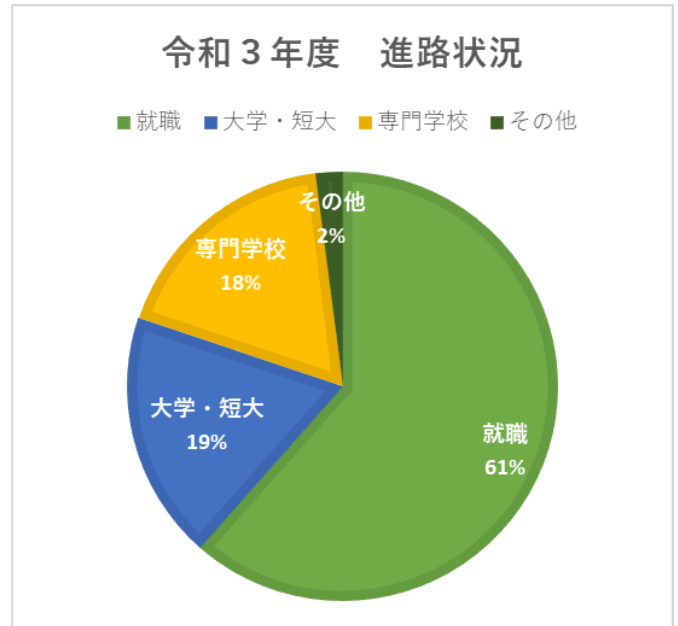
令和3年度の求人件数は**1988社！！**大手企業の技術職から地域に根づいた地元の企業まで、希望者一人に対して14社の募集をいただきました。宮工には複数の企業を比較してじっくり考えられる十分な情報量があります。また、これまでのつながりやニーズから、**企業が求人先を限定して募集する『非公開求人』**も多くいただいています。

2. 選択肢の広さ

3年間の経験によって、**やりたいことが変わる可能性**は大いにあります。進路活動において大切なのは本人の目標が明確であること。本校では進路ガイダンスだけでなく上級生から体験談を聞く機会を設け、**卒業後の自分をイメージ**させています。

3. 先を見据えた生活指導

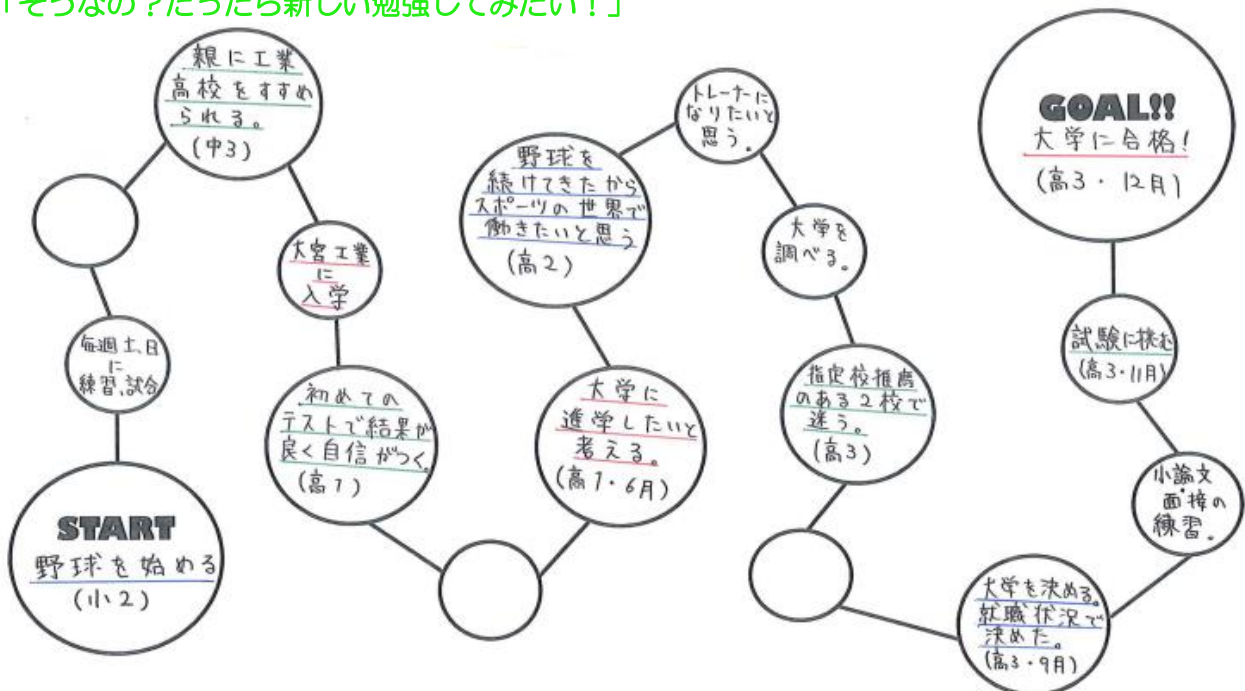
「当たり前のことを当たり前でできる」人として成長できるよう、本校では生活指導に力を入れています。実際に来校者への**元気の良い挨拶**や企業見学での本校生徒の**身だしなみ**は外部評価が高いです。普段の学校生活で行っていることが、一人の高校生として**校外に出た際のアピールポイント**になります。



「工業高校って、卒業後の進路は工業しかないの？」

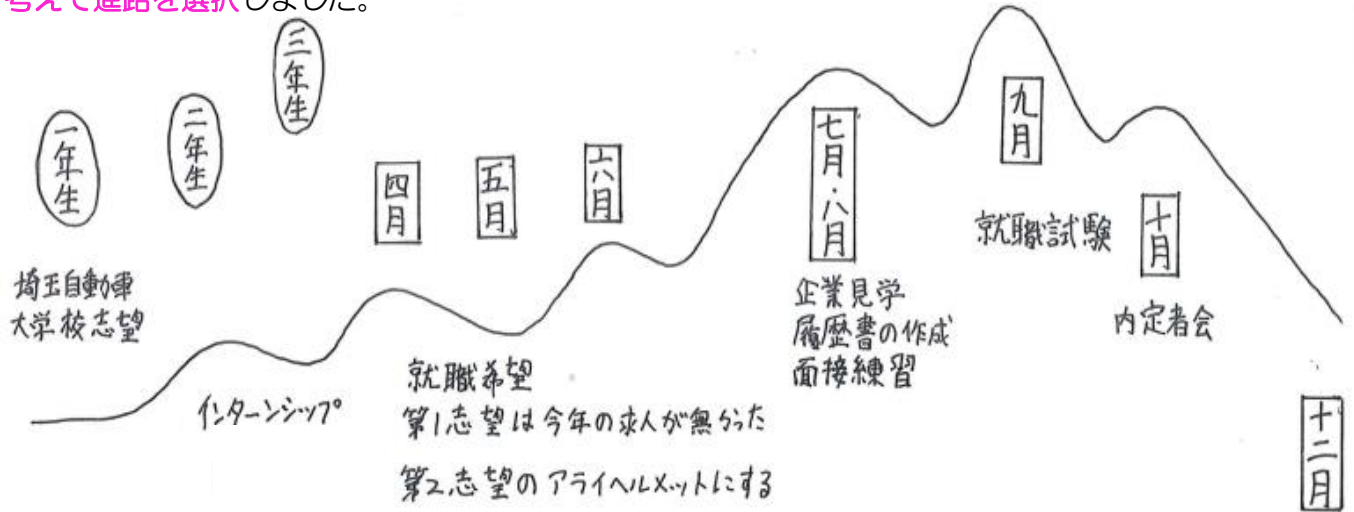
そんなことはありません。昨年度の卒業生の例を見てください。工業高校出身のお父さんの勧めで本校に入学したOくん。**学業に熱心に取り組み部活動に励む中でスポーツトレーナーになる目標を見つけ、大学に進学しました。**積極的に学校生活を過ごせると、いろいろな「やりたい！」が見つかります。工業高校だから道が狭まる、ということはないですよ！

「そうなの？だったら新しい勉強してみたい！」



「好きなことと工業高校の勉強が重なるから興味あるんだけど、途中で迷ったらどうしよう…」

ロードバイク、自動二輪、車……と、興味の幅が広いウくん。就職と進学、どちらも視野に入れて学校生活を送り、インターンシップでは専門学校の実習も体験しました。最終的に「**走る爽快感**」を一番に**考えて進路を選択**しました。



資格取得

高校は、活動の範囲や交友関係が広がる場。ふとしたことがきっかけで、**好きなことがさらに深まる**こともあれば**新たな興味に出会う**こともありますよ！

「そっかあ…迷いながら専門高校ってアリなんだね！」

もちろんです！宮工でたくさん考えてたくさん悩んで、3年後の自分をイメージしてください。

「大宮工業高校は就職率が高いって聞きました！大学生でも入社が難しい企業の求人もあるんですよね？」

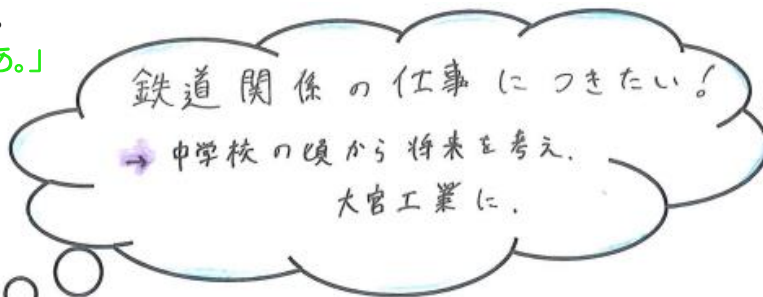
宮工のこと、よく知っていますね！おっしゃるとおり、本校は毎年、**魅力的な求人**を多くいただいています。底力のある企業とのつながりは**宮工がつくってきた実績**によるものです。

「すごい！！じゃあ、宮工に入ったら将来安心だね！」

落ち着いて！もちろん、後悔しない選択をするサポートは万全。ただし、いちばん必要なのは“どうしたいか”を考え続ける本人の努力です。

「高校入試と同じってことかあ。」

そういうこと！



- 企業を1つに絞るまで
1. 自分が何をしたいのか
→ この先何十年続けていけるか
 2. 10個程企業をピックアップする
→ 自分が知っている企業か、大手か
気にして
 3. 評定・仕事内容・休みなど
総合的に考えて比較する

- つまづいてしまったこと
- ① 大手の企業は評定4.5以上ないと、厳しいことが多く、諦めることになる。
 - ② 志望理由、履歴書、面接の練習など、まとめる作業

知ってる？宮工って

《機械科2年 吉川倅暖（蓮田市立黒浜中学校出身）》

機械科の実習では、自分の手でものをつくる楽しさと同時に、大変なことの先にやりがいがあることを学びました。専門科目で学んだことに生活の中で気づいた時、**工業高校で学ぶ楽しさ**を感じています。いろいろな資格がとれる中で、私は**旋盤技能検定**に挑戦しています。最初は寸法ミスを繰り返していましたが、高い技術を持った先生方にポイントを教えてもらい、工程表を作成できるようになりました。私はこんな宮工に誇りを持っています。



《建築科2年 前川静里奈（上尾市立瓦葺中学校出身）》

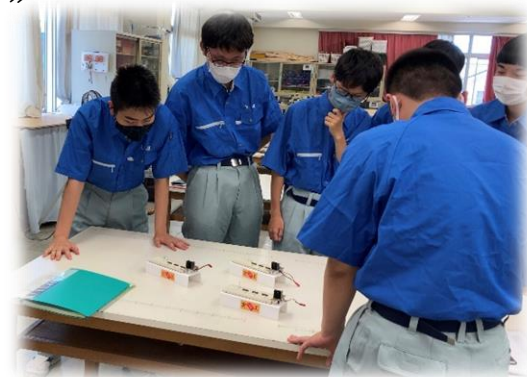
私は生徒会に入っています。中学生までの私は人前に出て発表することが苦手でした。そんな私が生徒会に入ったきっかけは、**自分を成長させるため**と、周りのことをもっと考えられるようになりたいと考えたからです。生徒会の活動は行事の深い部分に関わるだけでなく、書類の作成のような事務仕事もあります。そのような役割をとおして**他学年との交流が増え**、自然にコミュニケーションをとれるようになりました。今年度は「挨拶で始まり挨拶で終わる」学校生活を目標に、挨拶運動に取り組みたいです。



《電子機械科1年 新井信之介（さいたま市立第二東中学校出身）》

工業高校には『**工業技術基礎**』という実習の科目があります。電子機械科のこの授業では、専門的な電子機器の使い方や回路の組み方を学び、さらに細かな計測も行います。イメージは、中学校の理科の実験を高度な内容にしたもので、とても楽しいです。

先生方は個性豊かな方が多く、授業の中で**身近な豆知識**を話してくれます。蛍光灯の電圧に関するお話は、今まで考えたことがなかったので興味がわきました。



《電気科2年 柳田勇斗（さいたま市立片柳中学校出身）》

私が頑張ったことは、文化祭と資格取得のための勉強です。文化祭では電気科で学ぶ内容を生かして「ワニワニパニック」を製作し、お客様に楽しんでいただきました。電気科の生徒は2年生になると、**全員が第二種電気工事士の資格取得に挑戦**します。大宮工業の合格率は県内トップクラスだそうです。

大宮工業高校には、**学科を越えて取得できる資格**がたくさんあり、さまざまなものに挑戦できます。



スゴイんだよ！！



ワザを極める！



行事に一生懸命！



卒業後の活躍！



チームワーク最高！



成果に自信！

大宮工業高校 大宮工業高校 大宮工業高校 大宮工業高校 大宮工業高校 大宮工業高校 大宮工業高校 大宮工業高校 大宮工業高校 大宮工業高校



ホームページでも「スゴイ」宮工が見られます！！

関東圏のオンリーワン！

マイスター・ハイスクールに 指定されました！

〈宮工で広がる！ “学び” の可能性〉

「マイスター・ハイスクール事業」は、新たな社会を支える次世代マイスターの育成を目指して令和三年度から文部科学省が開始した委託事業です。指定を受けたことで**外部機関とのつながりを強めることが可能になり**、導入された設備や整えられた施設を十分に活用して体験したことのない学びに触れることができます。

たとえば、企業との連携は**現場のナマの声を聞く**絶好の機会。一言で「ものづくり」と言っても、そこには様々な要素が含まれます。どんな材料を選ぶか、どうやってつくるか。消費者が求めていることは何？製品の管理は？環境や経済といった分野にも目を向けながら実践的に技術を学べる3年間は貴重です。

現在、日本には1万を超える職種があります。それらの価値を守り、産業を発展させ、日本のものづくりを前へ進める人財になるチャンスを得よう！！

新しい学びは
すでに始まっています！

地球温暖化の解決策をテーマに研究に取り組んでいる、埼玉県環境科学国際センターの연구원・大和広明さんの指導を受け、オリジナルの環境測定装置を作成しました。この様子はテレビ埼玉でも放送されました！

大切なのは自分たちでつくったものの活かし方。データの解析や活用方法も学んでいます。



最後までお読みいただき、ありがとうございました。

4年後に創立100周年を迎える本校は、県内施設との連携事業だけでなく、他県の先生方が視察にいらっしゃるほど各方面から注目されている学校です。校内を歩いていただくと生徒たちが自信をもって学校生活を送っていることが伝わると思います。

世に出る製品の裏には、人が体験の中で考え、生み出し、改良され続けて進化した技術があります。ぜひ、本校で学び、ものづくりという未体験のステージで豊かな想像力を養い挑戦心を形にする手ごたえを味わってください。